

不定期刊

きんきん新聞

「きんきん新聞」第2号
2010年(平成22年)5月30日発行
発行:(株)中井英策商店
☎(0142)24-2934
✉kinki@poppy.ocn.ne.jp



発売から今年で30周年を迎えた「キンキのいずし」

キンキのいずし東北進出へ

この秋相次ぎ東北百貨店へ

仙台とアピテナショップ開店

北海道と並んで「いずし」文化が定着している東北に初進出...

中井英策商店は、このほど東北最大都市、仙台市内のさくらの百貨店仙台店内に初のアンテナショップを開店、本格的な東北進出を果たした。また、この秋九月、十月には青森県弘前市と仙台市内の百貨店で開催される「北海道物産展」に出店することが決定しており、いずれも東北での販売活動は創業以来初の試みだ。「いずし」文化が根付く東北地域で当社のいずしがどこまで受け入れられるか楽しみ」と及川社長は意気込む。津軽海峡を渡る「キンキのいずし」の新たな挑戦が始まる。



全道の新商品が勢揃いした道主催の試食会会場



全道人気第2位になった「炙りホタテいずし」

試食会で全道二位の人気に

あぶ 炙りホタテいずし高評価

風味&美味しさで最高人気に

当社中井英策商店が試作開発した新商品「炙りホタテいずし」がこのほど、道が行った北海道加工メーカー製品による加工食品試食会で全体の二位の高評価を受けた。



お客様と中井商店を ニュースで結びます

中井英策商店は、このほど宮城県仙台市内のさくら百貨店六階に東北管内で初の一坪直営店舗を出店した。

「薬市楽座」の仙台店としてオープンした店舗に当社も出店を行ったもの。店舗は、東北最大の都市、仙台市内JR仙台駅前の百貨店さくら野百貨店の六階に展開する「仙台楽市」内の一角に当社の販売スペースを設置したもので、店舗面積僅か一坪の小さなアンテナショップ。

「キンキのいずし」でお馴染みの(株)中井英策商店の近況や、新商品情報などをお伝えする「きんきん新聞」が創刊しました!! この新聞は、中井英策商店、「キンキのいずし」などを愛して下さるお客様全ての方々への情報発信の為の新聞です。

どうか、見てやって下さい!笑ってやって下さい!!

(株)中井英策商店 きんきん新聞編集室

九月十六日からさくら野弘前店

一方、物産展も今年秋は東北で初めて青森県と宮城県で実施する。九月十六日からは、青森県弘前市のさくら野百貨店弘前店で開催される「さくらの美味セレクション・北海道物産展」に初参加する他、十月には仙台市内の藤崎百貨店で初の「北海道物産展」に参加出店する。

販売商品は、春・夏期間が「キンキの中骨缶詰」「キンキカレー」などの常温商品で、秋・冬期間は当社の主力商品「キンキのいずし」などの販売を行う予定だ。この店舗は、今年四月に道内千歳市内にオープンした「千歳楽々市場」のショップに次ぐ当社としては二番目の店舗で、千歳の店舗と同じ運営会社が展開する。

全体での二番目の評価に中井英策商店及川社長は「ホタテ生産者と苦労して開発した新商品が高い評価を受けた事は誇らしいし、自信を深める事が出来たと胸を張る。同商品は、この秋から本格的な生産販売を開始する予定で、当面はホタテ生産地である胆振管内豊浦町の道の駅、伊達市の道の駅での販売に限定し、中井商店での通販だけの販売となる。



中井商店ブース

春の物産展盛況終了

1月から2カ月にわたりキャラバン

今年も春の物産展には、多くのお客様にご来店頂きました!!

中井英策商店恒例の「春の物産展」が今年も年明け早々の一月中旬から始まり、三月下旬までほぼ二カ月半にわたってのキャラバンが無事に終了した。

この物産展は、毎年春と秋の二回、道内はもとより全国各地の百貨店や物産品店などで行われているもので、今年の春は、一月の旭川西武百貨店を皮切りに、函館棒二森屋、丸井今井函館店、丸井今井札幌店、豊浦町北の収穫祭、帯広藤丸百貨店、札幌フアクトリーなどで開催、ほぼ三カ月に亘るキャラバンとなった。

途中、二月下旬に豊浦町で行われた物産市では、折からの「チリ沖地震」による津波到来騒ぎで途中中止となる思わぬアクシ



伊達マルシェイン・サポロフ・外リー会場

初の伊達マルシェも開催

日本版マルシェに中井商店も参加。

中井英策商店は、昨年度から農林水産省の支援を受けてスタートした地域おこし事業「マルシェ・ジャポン」にこのほど初めて参加。大きな反響を得た。

この事業は、日本版マルシェ(フランス語で市場のデント)などもあったものの、ほぼ例年通りに終了、旭川では「丸井さんが閉店してもう会えないかと思っただけ、来てくれて嬉しいわ

意味、事業を通じて、生産者と消費者が直接結びつく形で、新しい地域おこし、安心安全な食品提供を提唱する農水省が直接支援する事業で、全国各地でのマルシェ事業が展開されている道内では、北海道新聞社のグループ企業が事業母体となつて展開する「札幌マル

あ」と喜ばれるお客様も多く、感謝の気持ちを伝える中井商店スタッフの光景が印象的だった。

千歳モールにアンテナショップ開店。

キンキのいずしの中井英策商店は、このほど全国各地で、新しいタイプの地産地消店舗展開を図る(株)ストリーム(本社・東京都新宿区)と契約、同社が新たに北海道千歳市内で出店する「千歳モール」内に、札幌圏では初のアンテナショップを出店した。

シエ事務局」が、地域の町おこしと連動させて定期的に開催している札幌マルシェを三月二〇日から二十二日の三日間、札幌フアクトリーアトリウムで開催したもので、伊達市の物産業者十九店が参加して行われ、中井英策商店も参加した。

吹き抜けになった広い会場には、「キンキのいずし」や「白いプリン」「黄金豚」「伊達納豆」「藍染め」「野菜」などの伊達物産が並べられ、一風変わった物産市に行き

交う市民も興味深そうに見入っていた。また、会場では出店者各店が提供する商品争奪のジャンケン大会も行われ、熱気と笑いに満ちた会場は終日、賑わいを見せた。

なお、中井英策商店の及川社長は、北海道新聞社のインタビューに「予想以上の人出と売上げ。お陰様で大成功に終わった。出来れば、違う会場のマルシェにも参加したい」と語った。



千歳市内にオープンした当社アンテナショップ

千歳市内に初のアンテナショップ

この店舗は、千歳市内JR長都駅前旧イトーヨーカドー店舗で、現在の千歳モール二階にオープンした「菜々市場」内に、中井英策商店が同社として初の自社店舗をオープンしたもので、店舗面積は僅か一坪の小さなお店だが、「当社としては大きな第一歩(同社



タスマニアのホタテパイ工場にて(中央が及川社長)

『ホタテ加工品』求めて及川社長がタスマニアへ

新商品開発へ始動!!

国の補助事業で初の豪州視察研修

ホタテを求めてタスマニアへ・・・

中井英策商店の及川社長は、このほど新商品開発補助事業の一環として自身初のオーストラリア視察研修を行った。

これは、同社が農水省の「農工商連携新商品開発事業」に関する補助事業を受けて、ホタテを使用した新商品開発事業を進めていることから、オーストラリアタスマニア州を訪ね、ホタテ加工品の研修視察を行ったもので、シドニー経由でおよそ十五時間のフライトで目的地である、オーストラリア最南端のタスマニア州ホバートに到着した。同地では、北海道と南半球で同緯度に当たる同地で北海道同様に「ホタテ」の加工品が伝統的に食されていることに着目した及川社長が、ホタテを使用した総菜、フーズトフードなど

の加工品、メニューなどを視察した。途中、ホバート市内リッチモンドでは、カフェスタイルバーを訪ね、カレーをこよなく愛した英国のエリザベス女王にちなんで、カレー風味のメニューが多いことなどの説明を受けた。

及川社長は「新商品開発のアイデアが浮かんだ。近々に試作に入りたい」と意欲を見せている。



豪州タスマニア・ホバート近郊リッチモンド

新製品情報

目にも効く~!/? アロニアアイス シャーベット新発売



中井英策商店は、地元伊達市の特産品としてその栄養価が注目されているアロニア果汁を使用したアイスクリームとシャーベットを販売。

商品化、伊達道の駅黎明観だけで限定販売を開始した。ポリフェノールがブルーベリーに三倍含むことから目にも効く?と人気を集めている。アイスクリームは二七〇円、シャーベットが二五〇円。道の駅のみで販売。